

令和2年11月6日

6年生保護者の皆様

旭川市立永山西小学校

校長 松田 聡

令和2年度全国学力・学習状況調査の結果の概要について

向寒の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日ごろより、本校の教育活動にご理解とご支援をいただいておりますことに、心よりお礼申し上げます。

さて、過日実施いたしました今年度の全国学力・学習状況調査について、自校で分析した結果の概要を下記のとおりまとめましたので、お知らせいたします。

本校といたしまして、成果や課題を把握・検証して、その改善を図り、子どもたち一人一人の学習状況の改善や学習意欲の向上等につなげるよう教育実践を進めてまいりたいと考えています。

なお、本調査により測定できるのは、あくまでも学力の一部であり、学習状況の全てを判断することは難しいところであることをご理解いただきますようお願いいたします。

1 調査問題・結果について

国語

<調査問題>

- ・実生活の場面を想定した3大設問から出題されました。(インタビュー、学級での提案文、物語文)
- ・記述式問題の時数制限は、40~60字、30~80字以内という内容でした。
- ・漢字の問題は3つ、実際に漢字を書く問題と送り仮名を区別して選択する問題がありました。
- ・修飾語「長い」「しきりに」が、どの言葉を詳しくしているかを選択する問題がありました。

<成果>

- 「話す・聞く」領域は高い結果となりました。
- 漢字の問題は比較的よくできていました。
書く問題 〔設問1 ひじょう→非常〕 送り仮名の選択 〔設問2 改め〕 〔設問3 確かめ〕
- 選択する問題は、正答率が高い結果となりました。

<課題>

- ▲「書くこと」の領域や記述式問題の正答率が低い結果となりました。
- ▲条件に合わせて記述する問題が低い結果となりました。(本文につながる言葉遣いで書く、など)
- ▲本から引用する書き方が低い結果となりました。(～という本によると～だそうです、などの表現)
- ▲述語にかかる修飾語の正答率が低い結果となりました。(しきりに→なめまわし)

算数

<調査問題>

- ・日常場面で算数の考えを生かす問題など、4大設問から出題されました。
(図形の構成, 計算の仕方, 数量関係, グラフから読み取る)
- ・問題文を読み取って行う基礎的な計算問題や割合などの問題がありました。
- ・言葉と数を用いて, 式の意味や計算方法について説明する問題がありました。

<成果>

- 「量と測定」領域は高い結果となりました。
- 図形の構成要素(底面と側面)の理解が高い結果となりました。
- 極端に低い結果となった設問はありませんでした。

<課題>

- ▲「数と計算」領域が低い結果となりました。
- ▲数学的な考え方が低い結果となりました。
- ▲記述式問題の正答率が低い結果となりました。(言葉や数字を用いて説明すること)

2 今後に向けた改善策

(1) 授業改善に一層努めます。

- 基礎的・基本的な知識, 技能の確実な習得に努めます。
- 少人数指導, 習熟度別指導など個に応じた指導を充実させます。
- 主体的・対話的な学び等の工夫により学習意欲の向上を目指します。
- 見通し・振り返りを大切にした学習展開に努め, 単位時間の学習内容の確実な定着に努めます。

(2) 落ち着いた学習環境づくりに努めます。

- 学習・生活ルールの確実な定着を図ります。
- 児童相互が認め合い, 安心感がもてる学級集団づくりに努めます。
- 学習意欲を高める教室環境の整備と校内美化に努めます。

(3) 望ましい習慣づくりに努めます。

- 家庭と連携して, 家庭学習の習慣や生活リズムの見直しや改善に努めます。
- 読書に親しむ機会を増やし, 読書習慣が身に付くように努めます。
- 地域性を生かした学習や体験学習等により, 社会性の育成に努めます。

3 お願い

生活習慣と学力には, 密接な相関関係があることが分かっています。学校では, 「授業改善」「落ち着いた学習環境づくり」「望ましい習慣づくり」等の取組を行っていきます。ご家庭でも, 「家庭学習の定着」「早寝・早起き・朝ご飯」「家族同士での挨拶・会話」「お手伝い」「外遊びの奨励」等, 基本的な生活習慣の改善と定着について, ご指導いただくようお願いいたします。